

地元のことを美味しく食べよう！

地産地消

11月は、福岡県が食育・地産地消月間と定めており、県民一体となって食育・地産地消運動に取り組むことを推進しています。
秋の食材が実る季節に、朝倉産の野菜や果物などを、毎日の食卓に取り入れてみませんか。



●朝倉産を食べよう！

地産地消の取組として、「あさくら地産地消推進店」制度があります。朝倉産の農産物等を積極的に取り入れ、朝倉産を食べたり買ったりできる店舗を推進店として認定しており、現在14店舗あります。お店には、のぼり旗が掲げられているので、それを目印に是非訪れてみてください。

●11月はお祭りに行こう！

11月は、市内各所で農業に関するお祭りが開催されます。ここでは、朝倉産の農産物が販売されたり、食に関するイベントが行われたりします。今回の広報あさくらで、そのうち2つの祭りについて紹介していますので、お祭りに参加してみたい、おいしい秋の食材をたくさん味わってみたいいかがでしょうか？

あさくら地産地消推進店

《朝倉産が食べられるお店》

- ・ぬくもり畑
- ・つげ
- ・喫茶 青い屋根
- ・うなぎ料理・和食処 松月

《朝倉産が買えるお店》

- ・三連水車の里あさくら
- ・道の駅原鶴ファーム
- ・ステーションバサロ
- ・卑弥呼の里
- ・あさくら旬菜倶楽部
- ・きばる 産直市
- ・秋月BATABATA市場
- ・ハイカラさん
- ・えがわ直売所
- ・生産者グループ 百笑一喜
- ・旬菜 板屋



▲こののぼり旗が目印です

問 市農業振興課 ☎52-1427

※市のホームページに詳しい情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

●地産地消って一体何？

皆さんは、「地産地消」という言葉を知っていますか？

地産地消とは？
地域で生産された野菜や果物などを地域で消費すること

最近よく聞かれる言葉ですが、一体なぜ「地産地消」を進めているのでしょうか？

それは、「地産地消」を進めることで、色々なメリットがあるからです。

●地産地消のいいところ

現在は、安全な食を求め、食材を購入する際にも必ず生産地を見たいという消費者が多くなります。地元産の農産物は、生産地が分かるので、安心・安全の確保にもつながります。また、地元産を購入することは、生産者の応援にもなり、地域の活性化にもつながります。

消費者の求める安心・安全を、地域の生産者が生産し、地域のお店で購入できるという「地産地消」の形が、もつと多くの消費者に広まることで、朝倉市の農業・経済・地域の活性化にもつながります。

朝倉市は、新鮮で旬の安心・安全な農産物を、直売所施設やスーパーなどの身近な場所で購入することができます。

●朝倉市の取組

実際に地元産農産物を購入することは、身近で取り組みやすい地産地消のやり方ですが、朝倉市では、他にも地産地消の取り組みを行っています。

実は、朝倉産農産物は学校給食に取り入れられており、安心・安全な朝倉産が子どもたちに提供されています。

また、食生活改善推進会による地産地消をテーマにした料理講習会や、親子クッキング教室が開催されており、朝倉産の料理方法を知るだけでなく、食育の啓発も併せて行っています。11月に開催されるあさくらきてみん祭では、郷土料理（くずかけ）の配布を行うなど、朝倉産農産物の利用促進を行っています。



第3回あさくらたぶる祭り

朝倉の食材を使った屋台や、楽しいイベントが開催されます。ぜひお越しください！！

■日時…11月14日（土）〔予備日15日（日）〕
10時～15時30分

■場所…三連水車の里あさくら 芝生広場
(朝倉市山田 2192-1)

【イベント内容】
あさくら橘太鼓、ひょっこ踊り、餅まき、とん汁配布、さつまいも・富有柿詰め放題、米すくいどり、とうふづくり体験、農機具乗車体験、ハンギング体験、バルーン乗船体験、ファファなど
※都合によりイベント内容が一部変更になる場合もあります。また、イベントによって参加料が必要となる場合もあります。

主催 あさくらたぶる祭り実行委員会（三連水車の里内）
☎52-9300（ホームページ <http://www.sanren-suisha.com>）

第3回 あさくらたぶる祭り

朝倉の食・農・文化 大集合!!

会場マップ

- お管理 第2駐車場
- あさくら堂
- お管理 第1駐車場
- 出口専用
- 入口専用
- 遊具施設
- イベント会場
- 屋台コーナー
- イベントコーナー
- 体験コーナー
- バルーン乗船体験
- 本部
- ステージ
- 売店